



8月から10月にかけて長江セミナーも開かれる

以前にも、評論家・高山樗牛（ちやうぶ）らによってニーチェは日本で紹介され、関心を持たれていました。樗牛を尊敬していた長江がニーチェに関心を持ったことが想像できます。

竹内 長江がニーチェの全部を明らかにしたと言っ
てよいのでしょうか。

谷崎 長江の訳で日本で初めてニーチェを読むことができたわけだから、そうだと
思います。

長江が目指したものは

竹内 それでは、長江が目指そうとしたものについて、河
中さんの考えをお聞かせく
ださい。

河内 長江が目指していた
ものは、人の幸せといったも
のではなかったかと思いま
す。それをさまざまな角度
から検証して取り組んで
いったと考えます。

評論に見る長江の人物像

竹内 長江の評論観、評論に
おける位置づけをどうお考
えますか。

谷崎 長江は、批評というも
のをひとつのジャンルとし
て認めさせた人だと思いま
す。それまでは批評・感想を
書くということは、創作に比
べて価値の低いものとされ
ていました。それを同列ぐ
らいまでに高めたことが、長
江の文芸批評のもっとも大
きな意義だったと思います。
そういう手腕に長江は恵ま
れていたと思います。

竹内 長江がこれまでであま
り評価されることがなかつ
たことの原因はどこにある

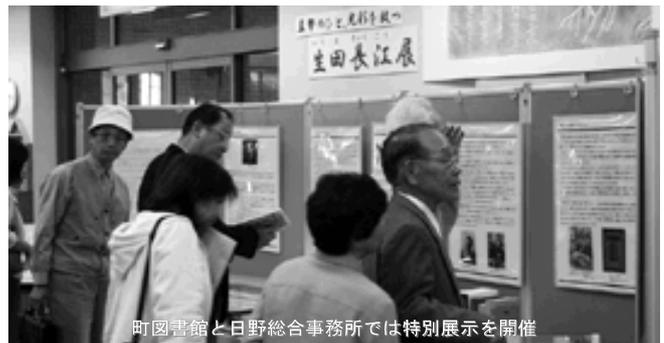
と思いますか。

谷崎 評論家で後世まで読
まれ続けるという人は極め
て少ない中、長江は関心を持
たれている方だろうと思い
ます。ただ、長江が損をして
いるところがあると思うの
は、青鞥創刊のきっかけと
なった長江が、後に「婦人解
放論の浅薄さ」という評論を
書いて批判する側に回った
こと。それに平塚らいてう
らが反論するという展開に
なりませんでした。女性解放運動
に限らず、長江はあらゆる局
面であえて異を唱えるよう
な動き方をしていた点で損
をしていたと思います。

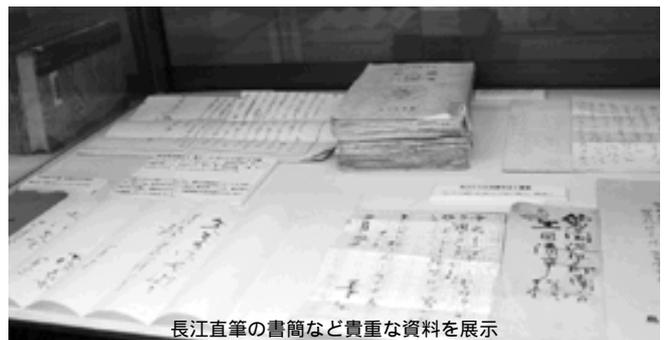
期待されるこれからの
顕彰活動

竹内 長江の門人の中で一
番有名な佐藤春夫は長江を
どのように見ていたのだ
でしょうか。

谷崎 佐藤は評論活動が主
だった人ではないので、長江
の評論に多くを学んだので
はなく、おそらく生き方・文
学者として生きる姿勢を最
も多く長江に学んだのだと
思います。また、長江を師匠



町図書館と日野総合事務所では特別展示を開催



長江直筆の書簡など貴重な資料を展示

にもったことが佐藤の誇り
でもあっただろうと考えま
す。

竹内 ありがとうございます
ました。このシンポジウムは
今回だけでなく、町でも長江
を核としているんな人を顕
彰していつていただきたい
と思います。新しい地域の
歴史や魅力、足跡をたどつて
いただきたい。そうした運
動をしていくことが、自分た
ちの地域に対する自信と誇
りが持てる、明るい地域づく
りにつながると思います。



長江の生い立ちや生涯を
わかりやすく解説したパン
フレット『こんにちは長江先
生（生田長江顕彰事業実行委
員会発行）』ができました。
ご希望の方は町図書館まで
どうぞ。

町民どうしがふれあう にぎやかな2日間



即売部門では早くから買い物客でにぎわう



黒坂小学校児童のかわいい傘踊り



力作ぞろいの展示部門



芸能部門では、客席とステージがひとつになって町民歌の合唱も



スポンサー賞は185本。提供してくださった皆さん、ありがとうございました



簡単に磁器の絵付けができるポーセラーツ教室も好評

生きいき「ひの」ふれあいまつり

町民どうしのふれあいを深め、明るいまちづくりを目指そうと、まちの総合イベント、第29回生きいき「ひの」ふれあいまつり（同実行委員会主催）が、10月21日と22日の2日間、役場前駐車場、開発センター、町文化センターで開催されました。役場前駐車場で行われた即売部門には13団体が参加、まちの特産品や木工品の即売や不要品のバザーなどが行われました。また、今回は栗まんじゅうやいか焼きなどの屋台も出

店し、買い物客らでにぎわいました。開発センターでの展示部門には、22団体による盆栽、書道、写真、手芸品などの作品が展示されました。22日には、文化センターで芸能部門が行われ、コーラスや吹奏楽、舞踊、演劇など10団体が出演、日ごころの練習の成果を披露しました。最後にはお楽しみ抽選会が開かれ、スポンサー賞として23団体から計185本の商品の提供があり、来場者に抽選で渡されました。